

ティーチ・イン「コミュニティを考える」1 心のやまいと共に生きること

私たちはみな一人ひとり違う。背が高かったり低かったり、歌がうまかったり下手だったり。神経質だったり、大胆だったり。違いがあるから一緒に生きていたのしい。違いがあるからぶつかって、新しい世界が見えてくる。「共に生きていく」ことを考えるティーチ・インの第1回は「心のやまいと共に生きること」について、当事者からお話をうかがいます。

●スピーカー：海東宏二(かいとうこうじ)

1975年慶應高校卒業、その後慶應義塾大学理工学部に進学するも、大学2年次に統合失調症を発病。てんかんの発作も起こすようになり、休学。入退院を繰り返したのち1982年に大学を中退。40代まで様々な会社で働くが、いずれも病気のために退職。その後、クリニックに通いながらデイケア、地域活動支援センターなどで活動を開始する。2013年には放送大学を卒業し、今年、日本福祉教育専門学校の通信教育課程を修了。当事者としてピアカウンセラーを目指す。

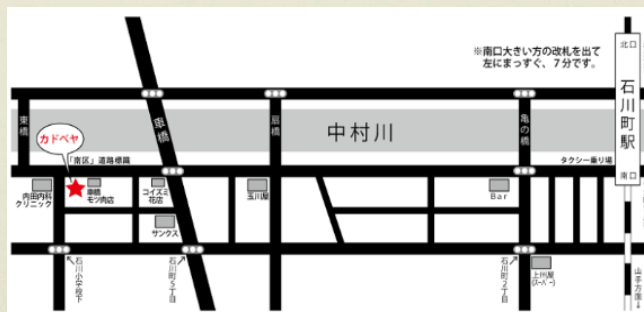
聞き手：横山千晶(よこやまちあき) 法学部教授

●日時：2016年12月6日(火)19:00~20:00

ティーチ・インは地域連携事業・居場所「カドベヤで過ごす火曜日」とのタイアップで行われます。20時以降夕食への参加を希望される方は500円が必要です。申し込みは当日で構いません。

●場所：居場所「カドベヤ」(横浜市中区石川町5-209-3 1階)

予約はいりませんが会場がそれほど広くないため、満員の時は入場をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください。



●問い合わせ先：横山千晶 chacky@keio.jp

主催 慶應義塾大学教養研究センター
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会
助成 横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト

ヨコハマ
アートサイト